

情報公開文書

「肝胆膵、小腸疾患における内視鏡的治療の安全性、有効性に関する検討」

版管理番号例：ver2.0（2024年5月15日）

1. 研究の対象となる方

当センターにおいて1972年11月1日以降、2025年3月31日までに肝胆膵、小腸疾患で内視鏡的治療を受けた方

2. 研究目的・研究の方法

この研究では、千葉県がんセンター消化器内科を受診し肝胆膵、小腸疾患で内視鏡的治療を受けた方を対象とし、治療の安全性や有効性について、実際の臨床診療におけるデータを集めて後ろ向きに検討します。この研究を通じてより精緻な治療体制を構築し、今後の治療に役立てていくことを目的としています。研究の方法は、既に存在している診療情報（カルテの記載や検査データなど）の調査です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究は、診療録から診療情報を収集します。試料は用いません。収集する診療情報は、病歴、治療の方法・内容・効果・副作用、転帰等です。収集した情報は、個人を容易に特定可能な情報（氏名、ID、生年月日、住所等）を削除して解析に用います。

4. 研究が行われる機関および研究者名

千葉県がんセンター単独の臨床研究です。研究責任者は喜多絵美里(消化器内科)、研究分担者は傳田忠道、中村和貴、須藤研太郎、今関洋、三浦義史、竹内和久(消化器内科)です。

4. 個人情報の保護について

個人を容易に特定可能な情報（氏名、ID、生年月日、住所等）は、情報管理責任者が厳重に管理します。解析終了後、解析に用いた情報は研究責任者管理の下、施錠可能な保管庫で厳重に保管し、5年間保存した後に完全に消去します。研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際に患者さんを特定できる個人情報が用いられることはありません。

6. 研究の資金源および利益相反について

本研究は、消化器内科の運営資金を用いて行います。本研究の実施に関連して、研究者が開示すべき利益相反はありません。研究者の利益相反については、千葉県がんセンター利益相反委員会が適切に管理しています。利益相反情報の開示をご希望の方は、研究責任者にご連絡ください。

7. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています

本研究は千葉県がんセンター倫理審査委員会が承認し、病院長が研究実施を許可しています。

8. この研究にあなたの情報を利用して欲しくない時はご連絡ください

あなたの診療情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究責任者までお申し出ください。その場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。学会や学術雑誌等への発表前であれば、あなたの診療情報を解析対象から削除いたします。発表後にお申し出頂いた場合は、まことに申し訳ございませんが、あなたの情報を発表内容から削除することはできません。しかし、あなたの個人情報や研究参加の事実が、発表の内容で判明することはありません。

本研究に関するご質問は、下記へお問い合わせください。

千葉県がんセンター 消化器内科 喜多絵美里

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2

TEL：043-264-5431（代表番号）